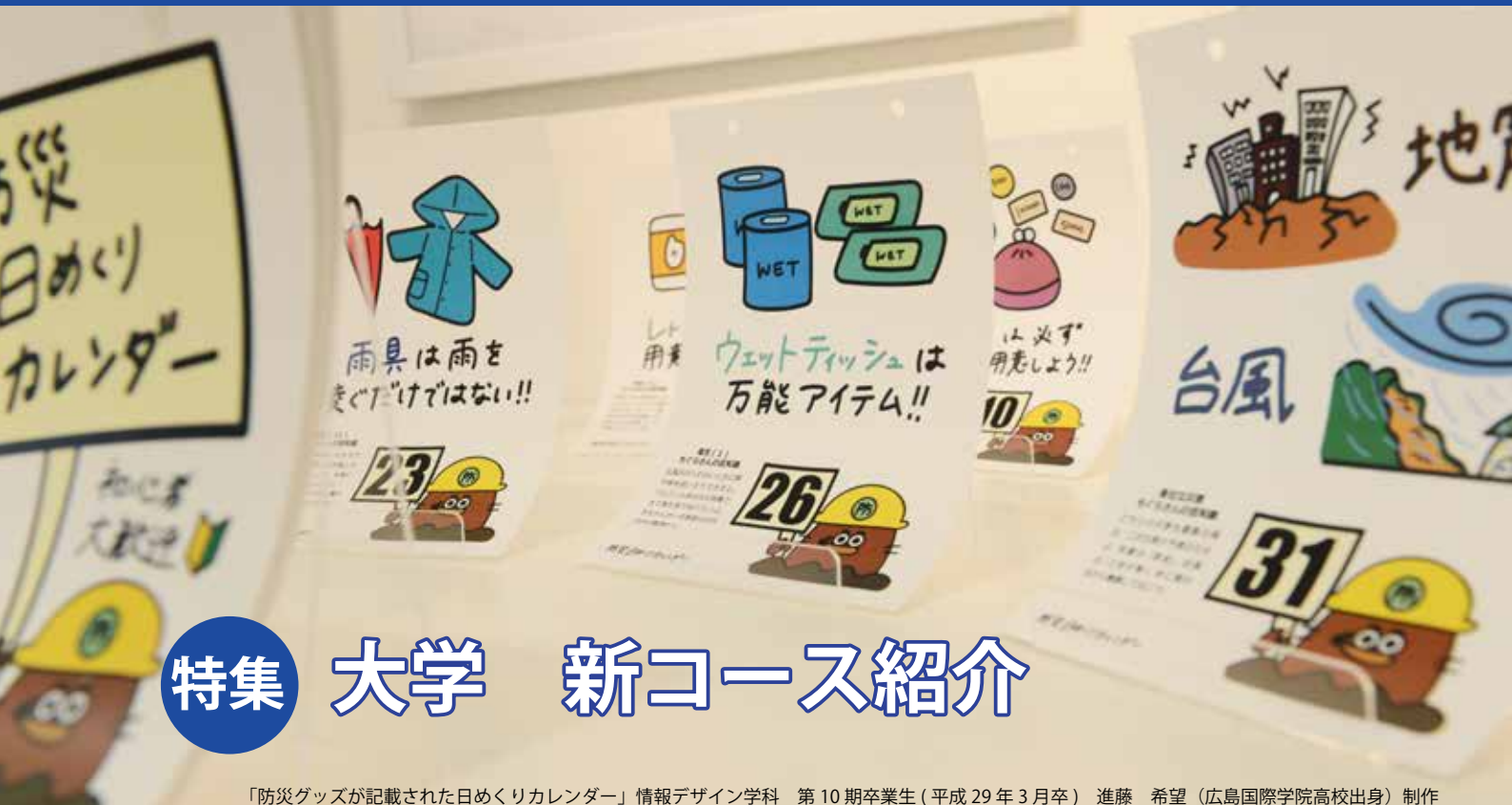


創立 90 年 広島国際学院 報

建学の精神
教育は愛なり

第 103 号

平成 29 年 5 月 1 日号



特集

大学 新コース紹介

「防災グッズが記載された日めくりカレンダー」情報デザイン学科 第 10 期卒業生 (平成 29 年 3 月卒) 進藤 希望 (広島国際学院高校出身) 制作

目次

特集 大学 新コース紹介	1
特集 高校 新校舎改築	2
委託研究「木質バイオマスのメタン発酵における廃水処理」	3
新任教職員挨拶	3
卒業式・入学式	4
満開に咲く学業の集大成 工学部	5
研究の成果、地域に芽吹く 情報文化学部	6
新たな学びの世界を発見 総合教育センター	7
努力の証を携え、未来へ発進 短期大学部	8
高校から発信	9・10
本学院学生・生徒の活躍	11
吹奏楽部がコンサートを開催	12
第 2 回職員交流会	12
第 2 回餅つき大会を開催	12
平成 28 年度進路状況	13・14
日本生物教育学会で本高校生徒が発表	15
第 3 回ベンチマーク活動を短大で実施	15
今後の主な行事予定	15

高校から発信

努力の証を携え、未来へ発進

短期大学部

新たな学びの世界を発見

総合教育センター

研究の成果、地域に芽吹く

情報文化学部

満開に咲く学業の集大成

工学部

高校 新校舎改築

特集

大学 新コース紹介

特集 広島国際学院大学 新コース紹介

2018年4月 学科コースが リニューアル!

いい顔、はじまる

全11コースから選べる 豊富なカリキュラム

工学部 生産工学科

① 機械工学コース



工業製品の設計開発と生産に必要な基礎理論やCAD/CAM/CAE技術が習得でき、さまざまな業種で活躍できる技術と発想力を兼ね備えたエンジニアを育成します。

② 電気情報コース



電気工学、通信技術、プログラミングなどを学び、アシストロボット、エコカーのようにITを活用するスマートテクノロジーを開発できるエンジニアを育成します。

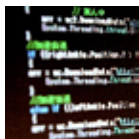
③ バイオ生産コース



分子生物学や遺伝子工学を学び、微生物を用いた食品工学や医薬品生産など、付加価値の高い製品開発を目指すバイオ技術者を育成します。

情報文化学部 情報デザイン学科

④ 情報技術コース



情報技術やネットワーク、プログラミングを学び、ICT社会における「人」、「モノ」、「情報」をつなぐシステムを開発できるシステムエンジニアを育成します。

⑤ デザインコース



グラフィックデザインやWeb、インテリアの基礎をデザインや色彩論で学ぶとともに、柔軟な発想力で視覚表現を磨き、社会で活躍できるデザイナーを育成します。

⑥ アート&エンターテインメントコース



CGやゲーム、アニメーション、映像、サウンドなどデジタルコンテンツの制作技術を学び、人と社会に新たな表現と感動を提案できるクリエイターを育成します。

⑦ メディア文化コース



インターネットや映像、ノベルなど様々なメディアの特徴や価値を学び、コンテンツやイベントの企画・提案・発信ができる人材を育成します。

情報文化学部 現代社会学科

⑧ ソーシャルビジネスコース



企業活動に必要な基礎知識や最新のビジネストレンドを学び、社会性・事業性・革新性の観点から社会的課題を解決するビジネス手法を身につけることができます。

⑨ まちづくりコース



現在の地方都市や農山漁村が置かれた状況を学び、地域産業の振興や地域社会の課題解決に貢献し、地域で活躍できる力を身につけることができます。

⑩ 生活と福祉コース



福祉の仕組みやワークライフバランスのあり方を学び、企業や地域社会、家族において様々な悩みや生活課題を抱える人びとを支援する力を身につけることができます。

⑪ 国際コミュニケーションコース



日本社会の国際化の現状を学び、国籍・地域や民族の違う多様な人々への理解を深め、企業や地域社会において共生と協働を推進する力を身につけることができます。

取得できる資格一覧

生産工学科: CAD利用技術者、3次元CAD利用技術者、機械設計技術者、技術士補、ボイラー技士、電気工事士、電気主任技術者、電気管理士、基本情報技術者、ITパスポート、バイオ技術者認定試験(上・中級)、危険物取扱者(乙・甲種)、公害防止管理者(大気、水質)、毒劇物取扱者、環境社会検定(eco検定)、食生活アドバイザー(2・3級)、中学校教諭1種(技術)、高等学校教諭1種(工業)

情報デザイン学科: CGエンジニア検定(エキスパート、ベーシック)、画像処理エンジニア検定(エキスパート、ベーシック)、マルチメディア検定(エキスパート、ベーシック)、Microsoft Office Specialist(MOS)、ITパスポート、基本情報技術者、色彩検定(1~3級)、インテリアコーディネーター、Webデザイナー検定(エキスパート、ベーシック)、ITパスポート、CGクリエイター検定(エキスパート、ベーシック)、高等学校教諭1種(情報)

現代社会学科: 環境社会検定(eco検定)、各種地域検定、TOEIC、サービス接遇検定、リテラシー検定、福祉住環境コーディネーター、介護保険事務士、社会福祉士任用資格、児童指導員任用資格、介護職員初任者研修

詳しくは大学ホームページで
<http://www.hkg.ac.jp>

特集 広島国際学院高等学校 新校舎改築



高校新校舎イメージ図（南側から）

本学院は今年度創立90周年を迎えます。高等学校では現在記念事業として、昨年10月に新校舎などを着工しました。現在、曾田にある校地（3号館裏の国道2号線沿い）に新設の橋、本館、体育館、ホールを建設しています。また、既存の校舎の一部を解体するとともに、周辺の風景に馴染むような植栽やグラウンドの人工芝化などの計画も予定しています。

建築計画における理念は、『歴史ある広島国際学院高等学校の伝統やその建学の精神である「教育は愛なり」を体現するような、優しく、生徒が魅力を感じる校舎とする』です。また校舎の安全性を確保しつつも、『ふれあい』を意識した施設計画になっており、生徒たちへ健全な教育環境が提供できます。

本館と新体育館は次年度4月から使用予定です。今年度は高校のホームページや学院広報などさまざまな機会を通じて情報を提供していきます。



定点写真（2016年10月）

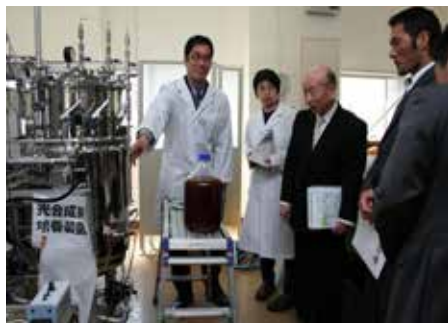


定点写真（2016年12月）



定点写真（2017年3月）

委託研究「木質バイオマスのメタン発酵における廃水処理」



4月1日に実施した光合成細菌浄化システム見学

2016年4月から森林総合研究所、広島大学、静岡大学と共同で、研究プロジェクト「メタン発酵による木質バイオマス活用実証事業」を行っております。このプロジェクトは、放射能に汚染された福島県内の木材を発酵させてメタンガスを生産する実証プラントを設置して、事業化の可能性を探る事業です。本学はこのプロジェクトの廃水処理を担当しました。

この委託事業では本学ものづくりセンター内に光合成細菌の培養装置（写真1）と光合成細菌ビーズの製造装置（写真2）を設置しました。水中の重金属や有機物の汚染を浄化する能力がある光合成細菌を培養装置で大量に培養し、ビーズ製造装置で直径1cmサイズのボール状に固め、この

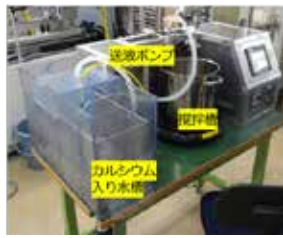
光合成細菌ビーズを用いて福島県のプラントで廃水の浄化処理を行いました（写真3）。この処理で水中のセシウムを除去できます。平成29年度も引き続き研究を進めると同時に、光合成細菌ビーズの生産と浄化処理を続ける予定です。



(写真1) 培養装置



(写真2) 光合成細菌ビーズ製造装置



(写真3) 浄化処理

なお、平成28年度の委託予算は約5,070万円で、内間接経費約503万円が法人の収入となりました。導入した機械もプロジェクト終了後は本学で研究や教育に用いる予定です。また、ビーズ製造装置は特許出願中です。

「はじめまして よろしく」 新任教職員挨拶



林 高田 峻也
高校教諭

周りの方々に支えていただいていることに感謝し、より一層精進していきたいと思えます。教員として人として成長し続けることを目標に取り組んでいきます。



上 自 動 車 工 業 科 助 教
剛

私の座右の銘は「誰にも出来る事を誰にも出来ない位にやる！」目標は高く自短のレジェンド！！「髪（神）ってる～」と呼ばれるまで（笑）頑張ります。



中 自 動 車 工 業 科 教 授
西 和 雄

学生諸君の自動車整備士資格取得に向け、自己の経験・知識等を活かし、最大限の支援を行い、共に成長したいと考えています。よろしくお願いたします。



小 法 人 本 部 職 員
島 ツヤ子

「教育は愛なり」の実践を目指し学生生徒・保護者に信頼され、卒業生・地域の方に愛される学校の一翼を担うよう努めて参ります。ご指導の程お願いたします。



米 法 人 本 部 職 員
本 征 史

本年度よりお世話になります。今までやってきた仕事の経験を活かし、一日でも早く皆様のお役に立てるよう努力して参りますのでよろしくお願いたします。



荻 情 報 処 理 セ ン タ ー 職 員
野 史 郎

今年度よりお世話になります。丁寧で確実な仕事をしたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



松 事 務 部 庶 務 課 長
田 英 憲

今年度、庶務課長として新規採用されました。学生、教員、職員の皆様のお役にたてるよう頑張っておりますので、よろしくお願いたします。

卒業式（大学・短期大学）



平成 28 年度大学卒業証書・学位記授与式

3 月 19 日、平成 28 年度大学・短期大学合同卒業証書・学位記授与式を挙りました。大学院、大学学部、

短期大学専攻科および短期大学の代表が一人ひとり登壇し、李木経孝学長から学位記と卒業証書を受け取りました。李木学長は式辞で、長い人生には数多くの岐路があるが、自分の生きてきた道に責任を持てる生き方をしてほしいと訴えました。また、「白珪尚可磨（はっけいなおみがくべし）」という言葉を紹介し、完全無欠だと思ってもさらに改善をめざして努力し続けるよう求めました。鶴素直理事長の式辞に続いて各賞受賞者の発表も行われました。

吹奏楽部が奏でる音楽の中、学び舎を巣立つ卒業生たちの表情には緊張の中にも学業を全うした充実感があふれていました。

卒業式（高校）



卒業式後の教室にも笑顔があふれる

これから未来に向けて旅立つ卒業生の晴れやかな気持ちであらわすかのような晴天の 3 月 1

日、第 68 回卒業証書授与式を行いました。

体育館の準備を行った先生方や在校生のみならず、平日にもかかわらず列席いただいた来賓・保護者の方々、多くの支えによって素晴らしい式典となりました。各担任が名前を読み上げ、返事をする卒業生の声には、誇りと感謝の気持ちがしっかりとこもっていたと思います。

式後の各ホームルームにおいては、高校生活最後の時間を心に刻もうとする笑い声、意外な人物の涙にもらい泣きをする顔など、どの教室においても笑顔と涙の入り混じった風景が見られました。

入学式（大学・短期大学）

花曇りの 4 月 5 日、平成 29 年度大学・短期大学合同入学宣誓式を執り行いました。李木経孝学長の入学許



平成 29 年度入学宣誓式

可宣言に続いて新入生代表が登壇し、力強く宣誓しました。

李木学長は式辞で「新入生の皆さんは主体的に学ぶ、すなわち自らの意志や判断によって自ら学ぶ姿勢を身につけてください。主体的に学ぶことで、高等教育機関の神髄である『学問のおもしろさ』を感じられると同時に、卒業時には『人間力』と『実践力』を兼ね備えた社会人へと変身できるのです」と新入生を激励しました。

式の後、恒例の入学祝賀茶会が催されました。温かさに誘われて桜の花もほころび始め、訪れた新入生や保護者たちも晴れやかな表情でお茶を楽しみました。

入学式（高校）

4 月 8 日、第 71 回入学式を挙りました。雨模様にも関わらず、多くの保護者の方々のご出席を賜り、本



第 71 回入学式

校に対する期待を感じた入学式でした。

今年度は 475 名の新入生を迎えました。新しい制服に身を包んだ新入生の姿はとても晴れやかで、これから始まる高校生活に対する期待に胸を膨らませている様子でした。森崎恒夫校長は『『教育は愛なり』の建学の精神のもと、『感動と学びのある学校』を目標として、学校生活を送ってほしい』と新入生を激励しました。

吹奏楽部の演奏する校歌とともに、元気よく退場していく新入生の姿を、会場の皆様方が温かく見守ってください、とても感動的な入学式でした。

工学部

生産工学科 第1回卒業論文発表会

2月10日、生産工学科4年生による卒業論文発表会が開催されました。工学部としては約50年の長い歴史がありますが、平成25年に生産工学科が設置されて初めての卒業論文発表会になります。

情報制御コース6テーマ、機械工学コース9テーマ、電気工学コース3テーマの発表がありました。発表に対する質疑応答も活発に行われ、教員からは厳しい質問やアドバイスなどもあり、今後に活かせる実りのあるよい時間となりました。後輩の3年生も発表会の緊張感を感じながら研究内容を聞くことができ、来年度へ向けての大きな励みになったようです。これらの経験は社会に出た後も仕事などできっと役立つことでしょう。



生産工学科初の卒論発表会

資格に挑戦



電気工事士技能試験に合格した学生たち（左から岩本さん、高橋さん、高沢さん、杉原さん）

生産工学科 12月3日に第二種電気工事士、4日に第一種電気工事士の技能試験が行われました。筆記試験に合格していた6名（第一種3名、第二種3名）の学生は、一ヶ月前から放課後や授業の合間を利用し、実習室で技能試験対策として単線図から電気配線を作成する練習を繰り返し、試験に挑みました。その結果、岩本淳秀さん（3月卒業、愛媛県立西条高校出身）、4年の高沢健太郎さん、高橋恵太さん（ともに広島国際学院高校出身）の3名が第二種に、3年の杉原悠河さん（県立広島工業高校出身）が第一種に合格しました。第一種で今回不合格だった学生も、練習の際は合格レベルでした。次回は実力を発揮して合格しましょう。



永井さん（左）と林さん（右）は食生活アドバイザー試験に合格。米田さんは二つの資格試験を取得した



食農バイオ・リサイクル学科 4年の永井雅紘さん（海田高校出身）と3年の林凜太郎さんは、栄養、食文化、衛生、マーケットなど、食生活全般についてのスペシャリストである食生活アドバイザー（3級）の試験に合格しました。また、3年の米田彩香さんは、バイオ技術者（中級）と毒劇物取扱者の二つの資格試験に合格しました。

本学科は組織も学生も継続努力することの重要性を再認識し、今後も学生目線の教育を展開してまいります。

PICK UP!

さらなる高みへ！ 今年も国立大学の大学院に合格！

この春、初めての卒業生を送り出す食農バイオ・リサイクル学科の卒業生は、それぞれの道を歩むことになりました。その中で、古川雄也さん（島根県立平田高校出身）と藤田美穂さん（広島県立安芸府中高校出身）が広島大学の大学院に進学します。

古川さんは、卒業後も農業についてさらに詳しく勉強したいと思い、また、藤田さんは食品の安全について研究しようと、ともに生物圏科学研究科を受験しました。

二人とも受験するに当たり、ゼミの先生からどういった内容の勉強をすれば良いかアドバイスをもらいながら、基本となる語句の意味と英語を中心に勉強し、みごと合格しました。本大学の教育を足がかりに、さらなる高みを目指します。



努力の末、ともに広島大学大学院に進学した古川さん（左）と藤田さん

情報文化学部

情報デザイン学科 第10回卒業研究・卒業制作展を開催

2月17～19日、情報文化学部情報デザイン学科 卒業研究・卒業制作展をJMSアステールプラザ市民ギャラリーにて開催しました。

今回は情報学部情報デザイン学科発足の年から10回目の展示会にあたり、これを記念して過去の展示から選抜した作品も併せて展示しました。また、2月18日には名古屋大学名誉教授の横井茂樹先生にご講演をいただきました。



本展には商品デザインや映像作品、ソフトウェアの他に、近年注目されているVR（仮想現実）やAR（拡張現実）、プロジェクションマッピングを用いた作品も出展されました。どの作品も、来場者の耳目を集めました。

HKGキャラクタープロジェクト in 瀬野川健康ウォーキング



あいにくの雨でテント内に設置されたパネルと制作に携わった学生たち

4月8日、HKGキャラクタープロジェクトは安芸区役所の依頼をいただき「第4回瀬野川健康ウォーキング2017」に記念撮影用のパネルを展示しました。

桜は満開でしたが、あいにく天気は悪く小雨が降る中でイベントは行われました。雨に弱いパネルはテント下の設置になりました。小さい規模になりましたがウォーキングに参加された方々は、春のウォーキングをテーマにしたキャラクターの前で楽しそうに記念撮影をしてくださいました。学生たちは自分の描いたキャラクターが、地域イベント活性化のお手伝いになっていることを実感したと思います。

現代社会学科 卒業論文発表会



研究の成果を発表する学生

2月18日、現代社会学科の卒業論文発表会が開催され、10人の卒業生が現代社会学科で学んだ4年間の成果が詰まった報告をしました。テーマは、アニメ、メディア、ギャンブル、葬儀、スポーツ、過疎化、外食・サービス業など、いずれも現代日本社会にとって重要な現象や課題といえるものでした。

当日は、彼／彼女らを指導した教員や李木経孝学長から鋭い質問やコメントが寄せられ、発表した学生はそれらに物怖じすることなく応答するという内容の濃い発表会となりました。卒業生には今後それぞれの進路・就職先で、こうした情報や知識を自分なりにまとめ、それをわかりやすく伝えるという経験を活かしてもらいたいと思います。

PICK UP!

地域づくり支援活動情報交換会での報告

3月12日、山口県セミナーパークで開かれた「大学生等による地域づくり支援活動情報交換会」において、竹元雅彦ゼミが山口県岩国市由宇町で3年間取り組んできた事業（「由宇とまをを活用した活性化事業」「とまとカレーのメニュー化」等）について最終報告を行いました。

実践的なマーケティング活動や商品開発の経験を通じて大きく成長した佐藤遼太郎さん、山口恭平さん（ともに広島県立安西高校出身）、水間正英さん（広島県立熊野高校出身）らによる発表は自信に満ち溢れていました。この活動を通じて「食」に興味をもった3人は揃って3月に卒業し、春から外食産業への就職が決まっています。

3年間活動をサポートしていただいた山口県岩国市の皆さまにもこの場を借り、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



地域づくり支援活動情報交換会で本学科は「由宇プロジェクト」の最終報告を行った

総合教育センター



事前教育スクーリング

事前教育スクーリング

12月25日、12月までに入学が確定した皆さんを対象に、大学において事前教育スクーリングが開催されました。ご家族19名を含む、合計92名が参加され、大学についてのガイダンス及び、数学、英語、社会各科目の事前教育についての説明が行われました。また、ご家族からの学生の下宿先の相談などに学生支援センターが対応しました。

スクーリング終了後には学生会館で自由参加の昼食会があり、参加者の皆さんに和やかな雰囲気での大学の食堂を体験していただきました。スクーリングについてのアンケートでは、大学での授業に期待が持てた、課題の説明が楽しかった、などの意見が出され、スクーリングを楽しみながら大学を知ってもらう機会となりました。

導入教育プログラム「自己の探求」実施 —新入生の絆深まる—

入学式前日の4月4日、本大学新入生が全員集合し、導入教育プログラム「自己の探求」を受講しました。午前中は、所属学科ごとのグループ分けや、自己紹介の実習を行いました。午後からは、相互認識を深める一対一の対話や、各自が意見や情報を持ち寄って話し合い、課題解決に取り組む実習を行いました。時にゲーム形式も交えた実習を楽しみながら、また学生スタッフの上級生のサポートを受けながら、自己と他者への理解を深めていきました。最後には、相互の印象やアドバイスを交換するなどしてプログラムを終了しました。入学後にクラスメイトとなる新入生同士、初めての顔合わせとなりましたが、早くも同級生としての絆を深めることができました。



サポート役の上級生と対面

生涯スポーツ B

2月15～18日、鳥取県大山ホワイトリゾートスキー場でスノーボード実習を行いました。今年度の履修学生21名を習熟度別の4班に分け、4日間の実習に励みました。初心者12名の学生は、インストラクターの指導でめきめきと上達し、2日目には中級クラスの斜面での滑降を楽しめるようになりました。最終日には、山頂から日本海の景色を堪能しながらの滑降を、転ぶことなく完走することができました。我を忘れ、雪との戯れを満喫できる滑降の醍醐味！スノーボードの魅力を体感したことと思います。



雪の大山でスノーボードを満喫

スノースポーツの体験は、若いうちに経験を重ねることにより生涯の趣味として定着し、滑ることができたという自信は、今後の学生生活をより豊かなものにし、人間的に強くたくましくなれることと思います。

PICK UP!

女性セミナー



完成したアレンジメントに笑顔も咲く

平成28年度の女性セミナーは、「季節のイベント」をテーマに4回開催しました。12月に開催した第1回「クリスマスに飾るフラワーアレンジメントづくり」では、宮本博子氏に今話題のプリザーブドフラワーを木製のケースに飾る斬新なアレンジメントをご指導いただきました。また、第2回は安達伸子氏による『打ち立てを楽しむ「そば打ち体験」&試食会』を初めて食農体験とコラボで開催し、男子学生や留学生も参加して大盛況でした。

2月に開催した第3回「バレンタインデー☆スイーツづくり」では、プロの波志幹夫氏にチョコレートのお菓子をご指導いただき、まるで高級洋菓子店のような美味しい焼き菓子が完成しました。最後は毎年開催している河嶋孝彦氏による「花を咲かせよう！」です。綺麗な15鉢の花が、3号館の前で皆さんをお待ちしています。是非、一度ご覧下さい。

努力の証を携え、未来へ発進

短期大学部



試験勉強に励む学生

自動車整備士登録試験結果

	卒業者数	受験者数	合格者数	合格率	全国合格率 (参考)
1級小型(筆記試験)	4名	4名	3名	75.0%	(22.4%)
2級ガソリン	64名	58名	56名	96.6%	(85.9%)
2級ジーゼル		22名	20名	90.9%	(93.7%)

平成28年度第2回自動車整備士登録試験(平成29年3月26日実施)の合格発表が行われました。結果は次表に示すとおり、残念ながら100%合格とはなりませんでしたが、

5ヶ月に渡る2級自動車整備士実技講習会の間、学生は辛い勉強にも耐え、合格を目指して日々遅くまで勉強しましたが、一歩及びませんでした。

専攻科は4月から教科書の内容を読み直し、確認テストを行いながら勉強してきました。10月からは本格的な模擬試験も始め、いろいろな装置の構造や制御について深く学び、夜遅くまで教室で勉強に励みました。1名残念な結果になりましたが、懸命に取り組む学生の姿に成長を感じることができました。新しい環境でもきっと活躍してくれると思います。

登録試験後の卒業記念パーティでは、試験が終わった喜びと短大を卒業する寂しさのなか、楽しい時間を過ごし希望の未来に旅立ちました。

外国人学生も合格!

クリスさん(左)とアンさん

2級ガソリン自動車整備士の試験で、アメリカ国籍のハミルトン・クリストファー・オスカーさんとベトナム国籍のホ・フック・ツウン・アンさんがみごと合格しました。二人とも漢字の理解に苦労していましたが、教員の徹底的な指導と自身の努力で合格を勝ち取りました。これからの活躍を期待します。

教育方針説明会を実施

4月5日の入学宣誓式に続いて短期大学部の教育方針説明会を開催しました。

初めに、保護者の皆様に短大後援会の役割と活動への協力依頼が行われ、次に知名宏短期大学部長から本学の建学の精神、教育目標、入学者受け入れ方針、教育課程編成・実施の方針、学位授与の方針など大学の教育体制の説明や学生生活を送る上での注意点、進級・卒業の要件、整備士資格取得状況や1年生のチューターの紹介などがありました。引き続き就職委員長の濱谷克則教授から、就職活動の厳しさ等について詳しい説明がありました。その後、保健室の役割や入学後に行われる健康診断などの内容を担当の木村孝子さんに説明してもらいました。これから2年間、学生生活を有意義に送るための大切な説明ですので、皆さん熱心に聞いておられました。これから新しい大学生活が始まります。元気に前進して行きましょう。



教育方針説明会

PICK UP!

企業研究会を進路の決め手に ~合同企業研究会(学内)の開催~

1月12・13日の午後、合同企業研究会を開催しました。昨年からの就職支援授業の総まとめとなるこの研究会では、昨年夏から学生が企業に出向き「個別企業研究」を行った結果を踏まえ、最終的に受験企業を決定するため、2日間で、希望する8社の企業のブースを廻り、説明を受けました。両日合わせて49社(自動車メーカー2社、ディーラー28社、一般整備9社、自動車用品2社、一般企業3社、損保2社、公益法人3社)の参加を得ました。

学生たちは企業の福利厚生、社員教育制度、企業の将来像、転勤の有無、離職率、採用試験情報等、将来を考え採用担当者から真剣な様子で説明を聞いていました。

研究会終了後のフリータイムも多く多くの学生が企業のブースを訪れ、熱心に説明を聞いていました。1月下旬から始まる採用試験の企業選択に大いに役立つ研究会だったと思います。



合同企業研究会

入学試験



新入生登校日の様子

2月3日に推薦入試、2月14・15日に一般入試を実施しました。ともに予定時間を変更することなく、試験は順調に執り行われました。総計1,425名の中学生が本高校の受験に臨みましたが、中でも今年は推薦入試の受験者数が1.5倍と大幅増加したのが特徴的でした。

また、本高校に入学する運びとなった475名の中学生は、保護者の方々と共に3月23日に行われた新入生登校日に参加しました。みな緊張した面持ちで本高校の学用品などを購入していました。

本高校に入学される皆さんには、来年完成する新校舎同様気持ち新たに、夢と希望をもった3年間を送ってほしいと思います。

マラソン大会を終えて



一斉にスタート

2月11日、1・2年生がマラソン大会に臨みました。坂中学校を起点に男子9キロ、女子4.5キロのコースを走りました。

大雪の予報があり、前日まで開催が微妙な状況にありましたが、当日は天候に恵まれ無事に実施できました。厳しい冷え込みの中を生徒たちは懸命に走り抜き、全員が完走しました。上位入賞を果たした二人の感想を紹介します。

大会を通じて学んだ諦めないことの大切さ

2年生男子の部 第1位

普通科3年3組 堀川慎生さん(高屋中学校出身)

去年のマラソン大会は10位だったけど、今年は1位を取れたのでうれしかったです。9kmはとても長いなと思っていたけど、海を見たり、風を感じたりしていたら意外とすぐに走り終わっていました。長距離走は自分の気持ちとの勝負なので、あまりプレッシャーを感じずに楽な気持ちで走りました。最後の1kmからきつくなってきたので、気合で足を動かしました。

マラソン大会を通じて、最後まで諦めずにやり抜くことの大切さを学びました。辛いことがあったらすぐにやめるのではなく、最後までやりきる努力をしようと思います。このことを、これからの受験や生活の中に活かしてがんばります。

最初で最後のマラソン大会

2年生男子の部 第2位

普通科3年3組 石田裕也さん(八本松中学校出身)

去年、僕たちのクラスはインフルエンザによる学級閉鎖で、出場できず、今回が初めての出場になりました。サッカー部で長い距離は走るけど2~3kmぐらいで、9kmは未知の世界だったので不安がありました。スタートしてから一周目は、初めての景色だったので、海を見ながら走っていたら、いつの間にか一周していたという感じでした。しかし、きつかったのは二周目です。足がだんだんと動きにくくなっていくのがわかりました。そして最後の坂道から堀川君がスパートをかけ、ゴールまでついていけず結果2位となりました。陸上長距離部がない中、サッカー部だけの上位争いになったので1位になれなかったのはくやしけど良い思い出になりました。この粘り強さを勉強に生かしていきたいと思っています。

国際交流

韓国から留学生がやって来ました

1月23日、韓国からヒュン君が本校に留学してきました。普通科1年4組に入り、3週間、生徒たちとともに学校生活を満喫しました。ヒュン君はとても人懐っこい性格で、すぐにクラスにも慣れ、友達もたくさんできました。休日には、宮島や大和ミュージアムへ行き、留学生生活をめいっぱい楽しみました。半年しか独学で日本語を勉強していませんでしたが、日本人の生徒達と積極的に交流し、短期間ながら、日本語が上達しました。本人は「帰りたくない」と言いながら、2月11日に帰国しました。また日本へ必ず来ると言っていました。日本の友達に、また会える日を楽しみにしています。



韓国留学生ヒュン君(中央)と普通科1年4組の生徒たち

オーストラリア・パースから高校生来校

1月18～23日、オーストラリア・パースにあるマウントローリー高校より、13名の生徒と2名の先生が本校にやってきました。オーストラリアの生徒たちは、本校の生徒の家にホームステイしました。

初日に歓迎会をし、二日目は、国際交流委員の生徒がスクールバディとなり、オーストラリアの生徒達をエスコート、それぞれのクラスへ入って、授業を体験しました。三日目は、オーストラリアの生徒が一同となり、各クラスへ行き、調理実習、茶道、剣道、体育、英会話、折り紙などを体験しました。

ホストファミリーからは、「とても楽しかった」「子供たちが英語に興味を持つようになった」「初めての経験で、子供たちにいろいろな良い影響があったように感じる」などの感想をいただきました。ご協力、本当にありがとうございました。



普通科2年6組のみんなと「あげしら」を作りました。おいしかったです。



茶道を体験しました。「お茶をどうぞ」



剣道をしました。最初は恐る恐る「めん」と打っていましたが、だんだん力強い音が響いていました。



夏の海外研修

この夏の海外研修は、オーストラリアとニュージーランドです。オーストラリアのパースでは今回受入をしたマウントローリー高校の生徒たちとの交流会もプログラムに入っています。またニュージーランドではオタゴ・ポリテクニク（オタゴ工科大学）で高校生のプログラムを実施し、今後は長期・短期の研修を順次展開していきます。



広島国際学院レポート

【大学・短大】平成28年度部活動成績

サークル名	受賞者	出場大会名	成績
アーチェリー	田向 弘樹 (3年 広島県立広島工業高校出身)	第46回中国四国 アーチェリー個人選手大会	5位
		第21回中国四国学生室内 アーチェリー個人選手権大会	5位
	木村 早紀 (3年 広島県立西条農業高校出身)	第46回中国四国 アーチェリー個人選手大会	8位
ボーリング	星川 創 (2年 広島国際学院高校出身)	第71回国民体育大会 ボーリング競技 (団体)	2位
硬式野球	中妻 健太 (3年 徳島県立徳島商業高校出身)	第99回広島六大学野球 2016年春季リーグ戦	ベストナイン (指名打者部門)
	鳳山 隆平 (3年 東海大学附属相模高校出身)	第100回広島六大学野球 2016年秋季リーグ戦	首位打者 ベストナイン (一塁手部門)

本学院学生・生徒の活躍

【高校】平成28年度部活動成績

部名	受賞者	大会名	成績
ゴルフ	団体	平成28年度第37回全国高等学校 ゴルフ選手権大会文部科学大臣旗争奪 (男子の部)	3位
	団体	平成28年度第33回中国高等学校 ゴルフ選手権大会 (女子の部)	3位
	金谷 拓実 (3年 昭和北中学校出身)	平成28年度第60回全国高等学校 ゴルフ選手権大会文部科学大臣杯争奪	1位
	関藤 侑嗣 (2年 駅家中学校出身)	第36回中国高等学校ゴルフ選手権春季大会	2位
	金岡 奎吾 (2年 高陽中学校出身)		3位
	吉田 好輝 (2年 東原中学校出身)		3位
	藪下 真衣 (3年 大柿中学校出身)		2位
	小西 瑞穂 (3年 長江中学校出身)		4位
垣 優菜 (2年 米子北斗中学校出身)	第34回中国ジュニアゴルフ選手権新人戦	3位	
陸上	団体	第69回中国高等学校陸上競技 対校選手権大会 (4×400mR)	5位
	天野 伊織 (1年 府中緑ヶ丘中学校出身)	第69回中国高等学校陸上競技 対校選手権大会 (400m)	2位
柔道	団体	第17回中国高等学校柔道新人大会 (男子の部)	5位
	鶴田 麻優子 (3年 熊野東中学校出身)	第63回中国高等学校柔道大会	3位
	妹尾 明紀 (2年 西条中学校出身)	第17回中国高等学校柔道新人大会	優秀選手賞
空手	団体	平成28年度第30回中国高等学校 空手道選抜大会 (女子団体形)	3位
レスリング	向井 識起 (2年 仁保中学校出身)	第71回国民体育大会 レスリング競技会	2位
	義田 省悟 (1年 府中中学校出身)	平成28年度第32回中国高等学校選抜 レスリング大会 (50kg)	5位
自転車	中村 圭佑 (3年 楠那中学校出身)	第71回国民体育大会 自転車競技会	8位
吹奏楽	団体	第40回全国高等学校総合文化祭	県代表
書道	迫 采音 (3年 矢野中学校出身)	第68回全国学生書道展	A賞

吹奏楽部がコンサートを開催

生産工学科 平成 29 年 3 月卒業 岩手 元輝 (広島国際学院高校出身)

11 月 18 日に本大学の吹奏楽部が「NOVEMBER SPECIAL CONCERT」という演奏会を開催しました。場所は私たちがいつも練習をさせていただいているイベントホールで行いました。

本番当日まで様々な不安やトラブルがありましたが、何とかやり遂げることができました。どの時間帯に行えばお客さんが最も来てくれるだろう、演奏時間は全部でどの位にしようなど、自主開催ならではの苦労もありました。でも当日には学生や先生方、事務の方など様々な人が来てくれたのでとてもうれしかったです。

また来年も行えればぜひ実施したいと我々吹奏楽部一同思っています。



(左) コンサートで演奏する部員たち



(右) 部長の今井聡さん (現代社会学科 4 年・呉港高校出身)

第 2 回職員交流会

1 月 26 日、広島ガーデンパレスにて第 2 回目となる「学校法人広島国際学院職員交流会」を開催しました。系列大学・短大と高校の教員および事務職員計 130 名余りが参加しました。

第一部の報告会では大学・短大・高校から計 4 件の報告を聞きました。系列校それぞれの特色を生かした取り組みが紹介されました。第二部の懇親会でも系列校の教育研究活動について、教職員らが積極的に意見を交わしていました。



大学・情報デザイン学科より「インド研修旅行」についての報告

PICK UP!

第 2 回餅つき大会を開催

食農バイオ・リサイクル学科 3 年 山本 怜奈 (広島国際学院高校出身)

1 月 7 日に JR 中野東駅ロータリーにて第二回餅つき大会を開催し、私たち学生がついたお餅を地域の方々に無料配布しました。留学生が多い本大学の特徴を生かし、日本の伝統文化を体験してもらうことと、日頃からお世話になっている地域の方々と交流の場を増やすことが目的でした。

地域のほことり会の方々には、準備の段階からご指導をいただきました。餅つきをするのが初めての学生が多いとあって不安でいっぱいでしたが、餅つきを一から学ぶことができました。留学生にも目的の一つである日本の伝統文化に触れてもらうことができ、もっと日本に興味を持ってもらうお手伝いできたと思っています。みんなで協力して作ったお餅は格別で、お正月に食べたどのお餅より美味しく感じました。なにより来てくださった地域の方々からの「ありがとう」「美味しかった」という言葉と笑顔がとても嬉しかったです。

しかし楽しかった、開催して良かったと思う反面、すべてがイメージ通りに成功したわけではなく、思い描いていたものと違う点があり、すべてが終了したいま「もっとこうすれば良かった」と悔しい思いがあります。しかし反省点と改善策が沢山見つかったということは、この思いを次回に生かすことができるということです。今回の餅つき大会を上回るような企画を考えようと、文化局一同感じています。

最後に、このたびご協力いただきました地域の方々、並びに写真撮影をしてくれた中川くん、本当にありがとうございました。



地域の方や留学生も参加したもちつき大会。撮影は写真部の中川由規さん (食農バイオ・リサイクル学科 3 年、広陵高校出身)

平成 28 年度 進路状況

平成 28 年度 広島国際学院大学進路状況

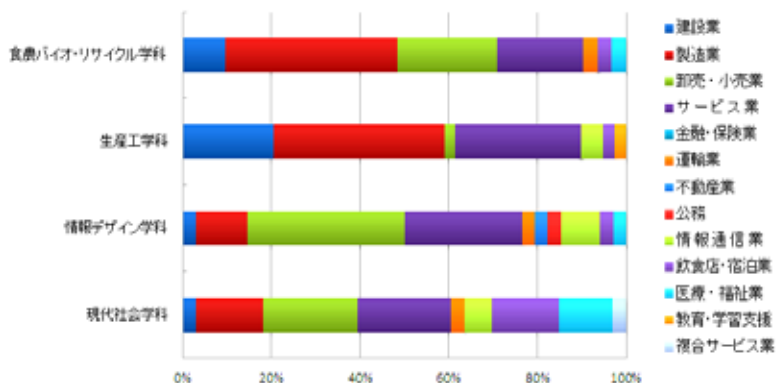
平成 29 年 3 月 31 日現在

- ・ グローバル社会, 多様化する価値観, そして変化を続けるビジネスモデルに対応すべく、ダイバーシティの視点および“慣行打破”のスピリットを持つ学生の育成に努めています。
- ・ これまでの本大学卒業生の実社会での活躍が評価され、今年度も前年度と同様に学生 1 人当たり約 40 倍の求人倍率を得て、高い就職率を達成しています。
- ・ 履歴書添削・模擬面接実施といった直接的な就職活動支援のほかにも適切な知識・情報の提供、学生一人ひとりの適性・能力に見合った職業紹介等、良き相談者として教職員が学生を徹底サポートしています。

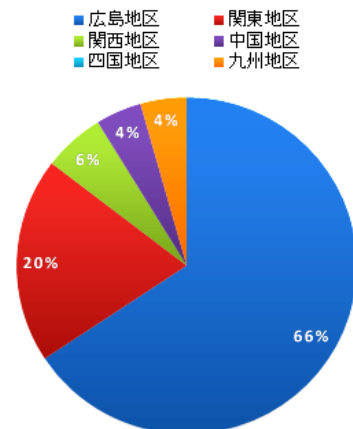
主な就職先

	工学部	情報文化学部
広島地区	朝日工業(株) アヲハタ(株) (株)イシカワ (株)石崎本店 (株)イズミ (株)オガワ (株)サタケ J F E スチール(株)西日本製鉄所 (株)ソルコム (株)中電工 デルタ工業(株) (株)東洋シート 内海造船(株) (株)なかやま牧場 (株)日本製鋼所広島製作所	アスカ(株) イズミ・フード・サービス(株) (株)エフビコ (株)エブリイホーミイホールディングス 荻野工業(株) (株)研創 (医) 好縁会 コスモシステムズ(株) (株)タカキペーカーリー 日本郵便(株) 伯和グループ (医) ひがしの会 (株)プレひまわり (株)良和ハウス (株)ロジコム
関東・北陸	(株)アビスト (株)キールスタッフィング 国際ソフトウェア(株) (株)サンテック (株)トラスト・テック 日研トータルソーシング(株) (株)ワールドストアパートナーズ	(株)アルプス技研 ダックスホールディングス(株) (株)ドン・キホーテ (株)ビックカメラ 藤田商事(株) 富士通エフ・アイ・ピー(株)
関西・東海	(株)アスパーク (株)トリドール 日本空調サービス(株)	(株)エクストリンク (株)コプロ・エンジニアード テレマート(株)
中国・四国・九州	久米島ダイビングセンターしらはまリン (株)コスモス薬品 (株)ジュンテンドー (株)フォレストヴィラホーム ミートセンター杉本畜産(株)	(株)さんびる (株)シマヤ (医) 徳祐会 (株)ワールドインテック

業種別就職状況



地区別就職先



平成28年度 広島国際学院大学自動車短期大学部進路状況

平成29年3月31日現在

進路状況

就職率 100%

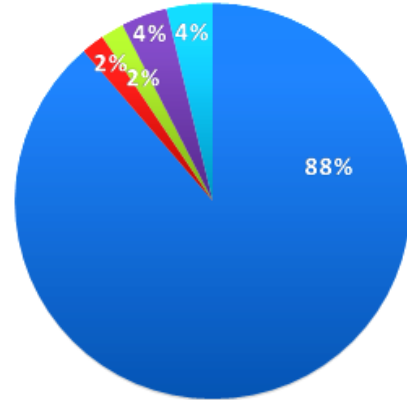
卒業生数	64名
就職決定者数 / 希望者数	53名 / 53名
進学決定者数 / 希望者数	9名 / 9名
進学も就職もしない者	2名

進路状況グラフ



地域(県)別就職状況

■広島県 ■山口県 ■岡山県 ■福岡県 ■東京都



平成28年度 広島国際学院高等学校進路状況

平成29年3月31日現在

進学・就職内定者数

学科	性別	在籍	進 学				就 職					
			大学	短大	専門	未定	県内	県外	公務員	自営	自己	未定
総合学科	男	72	52	1	8	6	2	0	1	0	1	1
	女	75	23	19	25	0	3	0	0	0	5	0
普通科	男	172	126	5	16	20	1	0	2	0	2	0
	女	168	103	17	30	14	3	0	0	0	1	0
合 計		487	304	42	79	40	9	0	3	0	9	1
比率			95.5%				4.5%					

大学・短期大学・大学校〈推薦・AO・一般入試〉合格先

	大 学	短期大学
中四国	広島大、山口大、島根大、愛媛大、徳島大、高知大、県立広島大、尾道市立大、山口県立大、下関市立大、島根県立大、鳥取環境大、広島国際学院大、広島国際大、広島修道大、広島女学院大、広島都市学園大、広島文化学園大、広島文教女子大、広島工業大、広島経済大、比治山大、安田女子大、福山大、福山平成大、岡山理科大、環太平洋大、吉備国際大、川崎医療福祉大、松山大、梅光学院大	広島国際学院大学自動車短大部、広島文化学園短大、比治山大学短大部、安田女子短大、山陽女子短大、川崎医療短大
その他	埼玉大、大分大、熊本大、鹿屋体育大、北九州市立大、名桜大、都留文科大、防衛大学校、東北福祉大、流通経済大、中央学院大、城西大、津田塾大、日本大、専修大、日本体育大、東京女子大、東京造形大、東京農業大、東京理科大、明治学院大、駒澤大、高千穂大、女子美術大、和光大、神奈川大、湘南工科大、日本映画大、名古屋文理大、朝日大、同志社大、同志社女子大、京都産業大、龍谷大、立命館大、奈良大、大阪体育大、大阪大谷大、大阪芸術大、大阪商業大、関西大、関西外国語大、関西医療大、羽衣国際大、阪南大、摂南大、近畿大、追手門学院大、大阪学院大、大阪経済法科大、関西学院大、神戸学院大、武庫川女子大、姫路獨協大、西南学院大、九州共立大、九州産業大、日本文理大	関西外国語大学短大部

専門学校

就職

	専門学校	主な就職先
中四国	広島市立看護専門、IGL 医療福祉専門、トリニティカレッジ広島医療福祉専門、穴吹デザイン専門、広島YMCA 専門、広島コンピュータ専門、広島ビジネス専門、広島デンタルアカデミー専門、広島ビューティーアート専門、広島リゾート&スポーツ専門、広島医療秘書こども専門、広島外語専門、広島県理美容専門、広島公務員専門、広島情報ビジネス専門、広島情報専門、広島工業大学専門、広島高等歯科衛生士専門、広島福祉専門、広島製菓専門、広島美容専門、福山医療専門、小井手ファッションビューティー専門、リハビリテーションカレッジ島根、朝日医療専門、岡山労災看護専門	(株)ワイテック、(株)ソニア、(株)ラランジェ、(福)広島常光福祉会、(福)白寿会、瀬野川病院、日本マーズ(株)、日本郵便(株)、(株)ベッセルホテル開発
その他	製鉄記念八幡看護専門、ESPエンタテインメント、トヨタ神戸自動車大学校、横浜スイーツ&カフェ専門、関西ビューティープロ専門、神戸ベルエール美容専門、専門 ESPミュージカルアカデミー、早稲田美容専門、大阪スクールオブミュージック専門、大阪ベルエール美容専門、辻製菓専門、東京ベルエポック美容専門、日本歯髄薬専門、日本工学院専門、服部栄養専門、福岡 ECO 動物海洋専門、文化服装学院、放送芸術学院専門、Imagin Education Australia	

昨年春、理学研究部の生徒たちが大学と共同研究がしてみたいとの申し出があり、大学の竹野健次教授と共同研究をする運びとなりました。テーマについて議論した結果、まずはお互い隣接する瀬野川の水質環境調査を題材に研究することになりました。

夏休みの8月に瀬野川上流の八本松から下流の海田までの水を採取し、現場や大学の研究室で水質を調査しました。その結果、瀬野川の自然浄化の効果が見られたことから、汚れた水を水生植物で浄化させる実験に取り組むことになりました。2学期には理科室で水生植物を栽培し、授業が終わった放課後に大学の実験室に行けば卒業研究生の側で栽培している水の水質分析を行い、水生植物の水質浄化能力を実証しました。

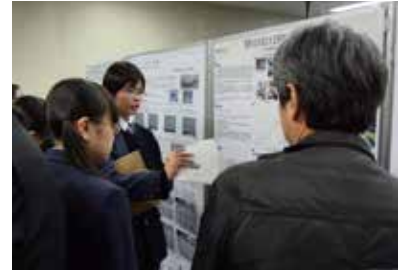
この実験結果を、高校の理学研究部と大学工学部食農バイオ・リサイクル学科の合同研究チームは、新年の慌しさが残る1月8日に東京学芸大学（東京）で行われた日本生物教育学会の高校生ポスター発表部門において、『瀬野川の水質と水生植物による水質浄化』というタイトルで学会発表を行いました。

ポスター発表では、全国の大学や高校の先生方がポスターを見ては研究について質問してくる形式になっており、部長の光本優さん（3月卒業、矢野中学校出身）を筆頭に一生懸命対応していました。また、いろいろなアドバイスもいただき、今後に向けた新たな課題も見つかりました。

今年研究した結果を受けて水生植物の水質浄化の新たな実験計画を立てているので、今年の反省を踏まえつつ、引き続き大学との共同研究を行っていく予定です。



現地での採水、調査の様子



ポスター発表で説明する光本さん（中央奥）



研究グループと高校の川上教諭（後列左端）
橋本教諭（前列右端）、大学の竹野教授（後列右端）

第3回ベンチマーク活動を短大で実施

平成28年度のベンチマーキング活動は、1月中旬からフォード・ジャパン・リミテッド・アジアパシフィック様と、1月24日からは、ひろしま産業振興機構様との協業で開始しました。

ベンチマーキング活動とは、発売された新車の装備や部品などを分解して構造等を調査し、他社の優れた技術の分析研究により自社の製品開発に役立てることをいいます。分解作業の中心になったのは、一級小型自動車整備士を目指す専攻科の学生10名です。今回の対象車両は、フォードがスズキ・バレーノ、産業振興機構が新型セレナです。一月の間に、ベンチマーキングを2回行う形になり、学生たちにとっては大変でしたが、さすが専攻科生、どの部分においても、練習の成果とチームワークによりスムーズに作業を進め、活動終了時には学生たちが技術的にも人間的にも大きく成長したと感じました。この経験は、彼らの大きな財産となるでしょう。



フォードエンジンの分解作業

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大学	13 学長杯スポーツ大会	24 ミニオープンキャンパス	29 オープンキャンパス（～30） 31 前期末試験（～8/4）	6 夏季休業（～9/16） 26 オープンキャンパス	30 ミニオープンキャンパス	14 第50回高城祭（～15） 28 ミニオープンキャンパス
		3 水無月祭 10 ミニオープンキャンパス	8 オープンキャンパス	1 前期末試験（～3） 5 オープンキャンパス（～6） 9 夏季休業（～9/6） 19 オープンキャンパス（～20）	16 ミニオープンキャンパス	7 保護者懇談会 21 ミニオープンキャンパス
短大						
	15 【1年】中間考査（～17） 18 【2・3年】中間考査（～22） 18 新入生集団合宿（～22）	13 体育祭 19 芸術鑑賞会	3 期末考査（～7） 18 クラスマッチ（～19） 20 終業式 23 短期留学プログラム（～8/9）	28 始業式	17 オープンスクール（～18）	11 【2年】中間考査（～14） 16 【2年】修学旅行（～20） 17 【1・3年】中間考査（～20）
高校						

この広報誌及び第三者認証評価結果はホームページでご覧になれます。

高校生以上の方に図書館を開放しています。詳細は図書館までお問い合わせください。

発行／学校法人広島国際学院 法人本部
編集協力／（エディトリアルサポート学生）
住所：〒739-0321 広島市安芸区中野六丁目20-1 電話：(082)820-2345